

令和8年3月28日（土）に、文京キャンパスにおいて、令和7年度定時評議員会が開催され、「令和8年度学校法人拓殖大学事業計画・予算案」が審議され、原案通り承認されました。

令和8年度の事業計画及び予算の概要は、次の通りです。

Ⅰ. 事業計画

Ⅰ. 令和8年度事業計画策定について

◆はじめに

予算編成に当たっては、18歳以下人口の減少加速や入学定員管理の厳格化等により私立大学を取り巻く環境がますます厳しい状況にある中で、法人並びにその設置する学校の設置目的及び使命を達成し、持続可能な安定した財政基盤と時代の要請に応える教学体制を構築するため、費用対効果の妥当性・適切性、既存事業の見直しなど多岐にわたり検証しました。

予算編成における取り組みとして、継続事業（経常的支出）については、予算単位毎に令和6年度予算の執行状況に応じたシーリングを設定し抑制を図るとともに、新規事業については、中長期計画で策定された基本戦略に基づいた事業を最優先に実行することとし、メリハリをつけた予算編成を行いました。具体的な事業内容は、後述の「令和8年度事業概要」に示すとおりです。なお、中長期計画で策定された基本戦略に基づいた事業を優先的に実行することとしており、具体的な事業内容は、後述の「令和8年度事業概要」に示すとおりです。

令和8年度事業方針について（理事長） ※令和7年10月3日

1. 法人運営の基本方針

私学を取り巻く環境の厳しさ、特に少子化による影響について、改めて認識させられるところであります。近年における4年制女子大学および短期大学の相次ぐ学生募集停止の報道は、我々大学関係者にとって、今後ますます激化するであろう大学間競争の到来を予感させるものであり、もはや伝統大学といえども例外ではない状況にあります。

こうした現況を踏まえ、各大学においては、社会の要請に応える人材を育成するため、既存の学部・学科の改組にとどまらず、DX（デジタルトランスフォーメーション）やGX（グリーントランスフォーメーション）などのデジタル技術を活用した文理融合型の新設学部の設置を進める動きが多くみられています。

本学におきましても、工学部を擁する5学部15学科から成る総合大学としての特性を活かし、令和10年度には、八王子国際キャンパスにおいて「情報」と「スポーツ」を融合させた新学部の設置を検討しております。また、近年の学生募集を取り巻く環境は一層複雑化しており、入学定員管理から収容定員管理への制度移行に加え、年内型選抜における併願制度の一般化により、入学者の確保はますます困難さを増している状況にあります。そのためにも、同系統の学部を設置する他大学の募集状況や、本学の入試結果等を分析の上、適正な入学定員への見直しを図っていくことも今後の検討課題となります。さらに、財

政基盤の安定化に向けては、学生・生徒納付金の在り方についての再検討や、「私立大学等改革総合支援事業」等における外部資金の受給につながるような体制整備・制度改善にも取り組んでいく必要があります。

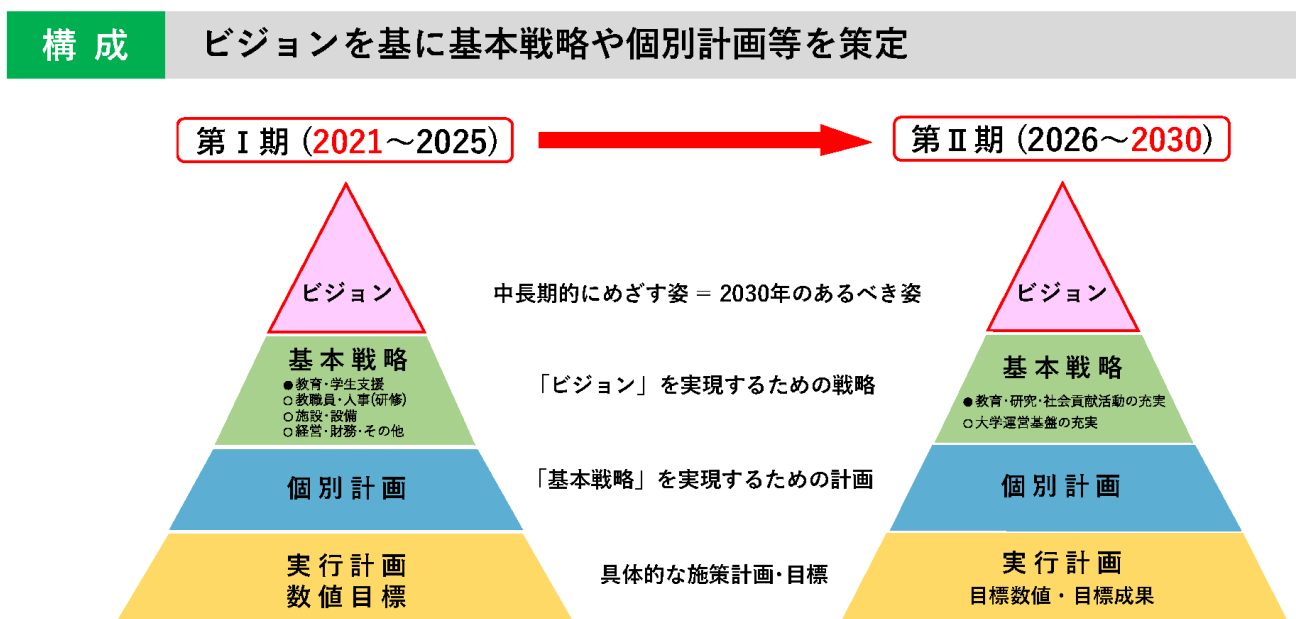
令和8（2026）年度からの5年間は、これらの課題に的確に対応し、本学の持続的発展を実現するための重要な期間となります。中長期計画「拓殖大学教育ルネサンス2030」の第Ⅱ期は、当初掲げた2030年のあるべき姿に向けた目標達成への後半期に位置づけられており、各部局においては、将来を見据えた有効な施策に向けた事業計画の策定と着実な実行に向け、取り組まれるようお願いいたします。なお、令和8（2026）年度の事業計画策定にあたっては、以下の点を重視してください。

- （1）気候変動による食料不足や諸物価の高騰、エネルギー資源の高止まりなど、混迷する社会情勢や国内外の不安定な政治経済状況を考慮し、その影響を極力回避するよう計画立案を行う。
- （2）拓殖大学ブランド戦略プロジェクト「拓大みらいダイアログ」は、答申を取りまとめる最終年度となり、本学の強みを学内外に浸透させることで認知度の向上を図る。各部局の活動計画は、この目的に沿って連携し、有機的に機能することを目指す。
- （3）各設置校においては、引き続き、特色ある教育課程の研究および推進に努め、より一層の学校運営の充実を図るものとする。

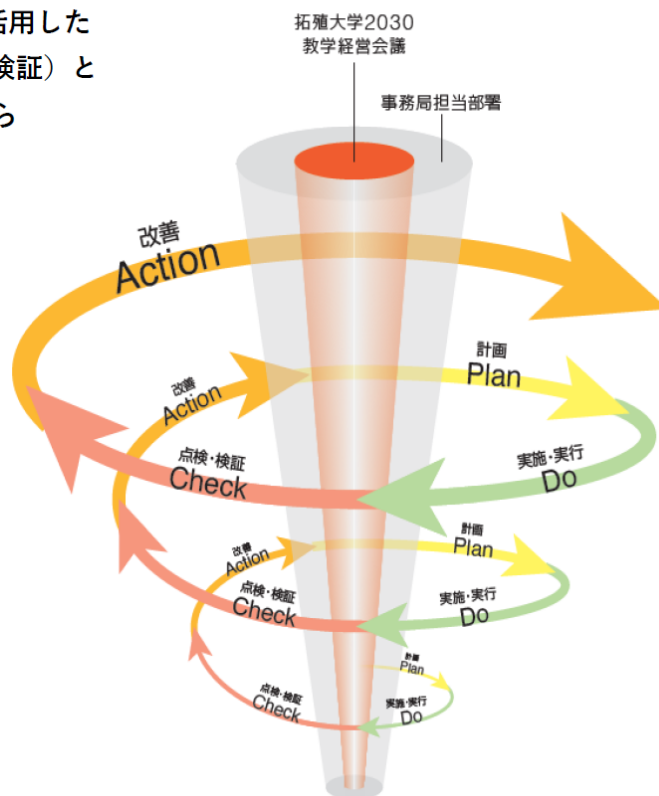
2. 学校法人拓殖大学 中長期計画【教育ルネサンス2030】との関連性

本学の中長期計画は、2021年～2025年の第Ⅰ期（前期）を経て、2026年～2030年の第Ⅱ期（後期）へ移行します。各設置校は「教育の質保証」を推進し、拓殖人材の育成と輩出に向けて、2030年のあるべき姿の実現を目指す「教育ルネサンス2030」の実効性と有効性を常に検証しながら、計画の展開を引き続き行ってください。

なお、毎年度の予算編成と事業計画は、中長期計画を基に作成してください。



中長期計画はPDCAサイクルを活用した進捗管理を行い、Check（点検・検証）とAction（改善）を常に意識しながら効果を測定します。



3. 令和8（2026）年度 予算編成・事業計画にあたっての留意点

- (1) 学校法人拓殖大学 中長期計画「教育ルネサンス2030」の進捗状況と達成状況を検証し、設置校拓殖大学と拓殖大学第一高等学校は、「教育の質保証」を推進し、グローバル人材「拓殖人材」育成の更なる充実を図るとともに、今まで以上の財政基盤の強化に取り組む。
- (2) 拓殖大学北海道短期大学は60年に及ぶ教育活動の集大成として諸事業を展開し、その成果を今後の地域社会に継承することを念頭に取り組む。
- (3) 事業計画策定にあたっては、本法人の現在保有している限られた資産（人的財産・歴史的財産・土地・建物）を最大限に有効活用して、各設置校の発展を図るために、全ての事業について費用対効果の検証を行う。
- (4) 予算編成にあたっては、文部科学省による在籍学生数の抑制強化による影響等を充分勘案し、学生募集力の強化、教育の質の向上のための教学組織の改革に取り組みつつ、財政基盤の充実・安定を図るべく事業計画を策定する。特に大学・短期大学における18歳人口の減少、高等学校における15歳人口の減少を踏まえ物件費及び人件費の抑制に努める。
- (5) 公益財団法人大学基準協会の第4期認証評価を踏まえ、PDCAサイクルに基づく内部質保証機能

の推進を重視する。

- (6)「学園共同体」として、各設置校間（拓殖大学・拓殖大学北海道短期大学・拓殖大学第一高等学校）及び学友会・後援会との相互理解や連携強化により、力の結集を図る。
- (7)事務局各部長は、所属各課（室）の令和6年度の決算結果及び令和7年9月までの事業評価を総括し、令和8（2026）年度事業計画（予算）策定にあたっては、課（室）単位を基本とし、次のとおりとする。
 - ①新規事業については、中長期計画に基づく事業を優先し、別途事務局長に申請する。
 - ②継続事業（経常的支出）については、原則として令和6年度の予算執行状況に応じた額を課（室）ごとに設定する。なお、これまでの事業内容を再度見直し、費用対効果重視の計画策定に努める。

II. 令和8年度事業概要

物件費について、継続事業（経常的支出）は、これまでの事業内容を再度見直し、費用対効果を重視し予算の策定に努めましたが、物価高騰等の影響により、前年度予算を上回る結果となっています。学校法人拓殖大学中長期計画【教育ルネサンス2030】の「ビジョン」に基づき実施する令和8年度の主な新規事業等は以下のとおりです。

◎拓殖大学教育ルネサンス2030

1. 拓殖大学

(1) 教育・研究関連

- ①教育ルネサンス2030プロジェクト（英語力の強化・向上、実践的な職業教育の充実等）
 - ②海外キャリア教育・インターンシッププログラム視察
 - ③海外留学プログラム引率
 - ④特待生奨学金
 - ⑤原英達学習奨励金創設
 - ⑥公務員試験合格者への報償制度導入
 - ⑦生成AIパスポート試験合格者への報奨制度導入
 - ⑧リカレント教育プログラム導入
 - ⑨工学部英語講座業務委託
 - ⑩履修ガイダンス動画制作
 - ⑪防災教育研究センターシンポジウム開催及び紀要発行
- ◇オレンジプロジェクト
- ①【ActiNest】学生生活支援活動
 - ②【T-COLOR】女子学生比率向上
 - ③【Link Bunkyo】文京キャンパス地域連携・防災の推進
 - ④【CONTIGO】八王子国際キャンパス地域連携・防災の推進
 - ⑤社会人基礎力育成グランプリ実施、全グループ共通経費

(2) キャンパス環境整備関連

◇文京キャンパス

- ① B館 照明器具更新工事
- ② B館・E館 自動制御設備更新工事（第Ⅲ期）
- ③ B館 学生食堂厨房機器整備更新
- ④ B館 学生食堂・E館 カフェ券売機更新
- ⑤ C館・E館 空調用ポンプ及びインバーター装置整備工事
- ⑥ C館 地下1階PC教室PC機器更新
- ⑦ E館 一般教室及びC館PC教室マルチメディア設備更新
- ⑧ 非常用照明設備蓄電池及び器具更新工事
- ⑨ 入退出管理装置、空調設備用自動制御機器等保全部品交換
- ⑩ 文京留学生寮 照明器具更新工事

◇八王子国際キャンパス

- ① 管理研究棟裏 法面補強工事（八王子国際キャンパス整備事業）
- ② E館 網戸設置工事（八王子国際キャンパス整備事業）
- ③ 幹線道路改修工事（八王子国際キャンパス整備事業）
- ④ 恩賜記念館 空調機更新工事（八王子国際キャンパス整備事業）
- ⑤ A館 CALL教室・D館一般教室のアクティブラーニング教室改修工事
- ⑥ A館 一般教室プロジェクター及び大型ディスプレイ更新工事
- ⑦ A館 受変電設備用直流電源装置更新工事
- ⑧ E館 207・208教室のアクティブラーニング教室改修工事
- ⑨ 工学部棟 ネットワークケーブル更新工事
- ⑩ 工学部棟 1階・2階各実験室配線用遮断機及び分電盤用遮断機改修工事
- ⑪ 工学部棟 1階精密測定室設備更新
- ⑫ 工学部棟 2階PC室設備更新
- ⑬ 工学部棟 3階展示室改修工事
- ⑭ 工学部棟内 Wi-Fi アクセスポイント整備
- ⑮ 落雷対策低圧受電機器改修工事
- ⑯ 消防設備修繕工事
- ⑰ 学生交流会館 温水ヒーター更新工事
- ⑱ 第一・第二学生食堂・オレンジカフェ 厨房機器修繕及び更新工事
- ⑲ 第二体育館 ボクシング道場リングマット等パーツ更新
- ⑳ 野球場 人工芝メンテナンス工事一式
- ㉑ 第一・第二体育寮 厨房機器更新・第二体育寮厨房内装更新工事
- ㉒ 第二体育寮 談話室内装修繕工事及び南棟機械室扉更新工事

◇ I C T ・ D X

- ①学務システム更新
 - ②証明書自動発行機W e b 決済システムデジタル証明書発行システム導入
 - ③オンライン入学手続きシステム導入
 - ④両キャンパス一般教室教卓用ノート P C 更新
 - ⑤学生支援情報管理システムの導入に伴うデータパンチ作業委託
 - ⑥クラウド型奨学金運営管理システムの導入
 - ⑦事務用メールシステム Microsoft365 移行
- (3) ブランド戦略関連
- ①拓殖大学ブランド戦略プロジェクト「TAKUDA | 未来ダイアログ」事業
 - ②大学紹介動画制作
 - ③留学生紹介動画制作
 - ④入試説明会用スライド制作

2. 北海道短期大学

- ①証明書発行に係る卒業生データの電子化
- ②卒業論文デジタル化
- ③保育学科不要備品等廃棄

3. 第一高等学校

- ①クラブハウス棟エアコン設置工事
- ②熱中症アラートシステム導入
- ③校舎棟・クラブハウス棟等 L E D 更新
- ④校舎棟多目的ホール照明 L E D 更新
- ⑤校務支援サービスサーバ更新
- ⑥情報管理室 D N S サーバ更新工事
- ⑦経理システム更新
- ⑧塾訪問サポートサービス導入